

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市上今泉(南)計画 新築工事	階数	地上11F
建設地	海老名市上今泉字蛭沼2107番3	構造	RC造
用途地域	工業地域、無指定	平均居住人員	294 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2016年12月14日
敷地面積	3,153 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	814 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月14日
延床面積	6,674 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0** ★★★★★★

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	地域の景観に配慮した色彩、高さとし、道路等の公共空間との間に植栽を施し周辺からの見え方に配慮した計画とした。	その他
Q1 室内環境	・二重壁によりDr値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスを採用。	Q3 室外環境(敷地内)
		建物の配置、形態、植栽などを周辺との調和に配慮した計画としている。
		LR3 敷地外環境
		・ディスプレイを採用。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される